

## 建設機械・各種トラックの売買・輸出・リースのことならディーゼル通商へ

### ■ 今月のディーゼルレポート DIESEL report

Meetsプラス第2号はディーゼルエンジン車両についての現在の動向のお話です。

日本国内において、ディーゼル燃料がガソリンに比べて税制上安価であり、経済性を優先する商用車(トラック、バス、ライトバン)などにディーゼル自動車が多く利用されていたことは皆さんもご存じかと思えます。高速定速走行の頻度が高い高速バスや輸送用のトラックには、以前からターボチャージャーが普及していましたが、走行抵抗の大きい悪路での微・低速走行の機会の多いダンプ、トラックでは、レスポンスに優れ、扱いやすい排気量20リッタークラスのV型8気筒自然吸気エンジンが好まれてきた経緯があります。

しかし次第に厳しくなる排ガス規制の前に各社とも排気量約11~13リッター程度まで落とし、有害排気の低減化装置と親和性が高い直列6気筒エンジンに生産を絞り込んだ為、排気量の大きなV型

エンジンは姿を消しました。現在の中型、大型エンジンのほとんどが、直接噴射式でターボ過給インタークーラが採用され、排気量9~16リッター級のものでは直列6気筒で500hp強の出力が得られるようになってきています。

原油価格の高騰後、価格面での優位性が下がっている上、燃費の良い車両の需要が多くなる昨今、環境面でも環境悪化が指摘される高排気量国内向中古車両の需要の低下は進み続け、国内においての市場価格も下がってきています。

輸出国においても、もちろん年式規制により価格も大きく変わり、エンジンの排気量も輸出国により相場展開の変化がある為、重要となってきています。以前は、低価格であれば何でも売れたのが、最近では海外でも中古車も吟味されるようになってきています。

### ■ おすすめ在庫機 recommend stock



CAT  
325B  
1999y **¥5,500,000**



KOBELCO  
SK50UR-3  
2004y **¥1,300,000**



KOMATSU  
PC28UU-3  
2006y **¥1,000,000**



MITSUBISHI  
BD2J  
1998y **¥600,000**



TCM  
FG18C191  
2005y **¥550,000**



UD トラクタ  
ADG-GK4XAB  
H20 **¥7,900,000**



FUSO クレーン付  
PJ-FU50JY  
H18 **¥7,300,000**



UD セルフローダ  
PB-LK36A  
H18 **¥4,200,000**



ISUZU バン  
PB-NPR81AN  
H17 **¥1,800,000**



TOKYU トレーラー  
TL252A-81  
H6 **¥1,800,000**

その他多数在庫取り揃えています!

### ■ 担当者より staff message

はじめまして。今回のmeetsプラス担当の営業部の橋口といいます。簡単な自己紹介をさせていただきます。  
奈良県出身の34歳。この業界に入る前は、トラックディーラーで整備、営業職をしておりました。その経験を生かし、お客様に満足頂ける営業を日々心がけております。トラック車両全般を得意分野としておりますので車両に関するご質問など、なんでもお気軽に御相談下さい。今後とも宜しくお願い致します。

海外レポートは裏面へ!

まずはお気軽にご連絡ください! TEL 0725-33-8989



建設機械・トラック・売買・輸出・リース  
ディーゼル通商株式会社

本社 〒595-0024 大阪府泉大津市池浦町4丁目3-31  
小間清実業ビル2F  
岸和田ヤード 〒596-0105 大阪府岸和田市内畑町1758-1

当社ホームページにて取扱在庫も確認いただけます

<http://diesel-trading.jp/>

TEL 0725(33)8999 FAX 0725(33)8999

Email: info@diesel-trading.jp

## Myanmar

毎回、違った地域からの海外レポートをお届けします。

今回はミャンマーについてレポートします。

ミャンマーの地上面積は678,500km<sup>2</sup>あり、東南アジアで2番目に大きい国です。北東に中華人民共和国、東にラオス、南東にタイ、西にバングラデシュ、北西にインドと国境を接し、南西側はアンダマン海、南側はベンガル湾に面しており、海岸線の全長は1,930km、人口は5,600万人であります。

政治政権は、1962年にウー・ヌ率いる民主政権をネ・ウィン将軍がクーデターを起こし失脚させて以降、実権を握り軍事独裁体制を敷きました。現政権も軍事政権のタン・シュエ上將が握っています。しかしながら、数十年の間に及ぶ政治混乱と鎖国的な政治体制は、最貧国と認定される程に経済は著しく停滞し、他のアジア諸国に大きな差をつけられる結果となりました。

ミャンマーのGDP（国内総生産）成長率は年間平均2.9%でGMS（Greater Mekong Subregion：拡大メコン圏、メコン河流域6カ国＜カンボジア、ラオス、ベトナム、タイ、ミャンマー及び中国雲南省＞のこと）の中でも一番低い経済成長率となっています。しかしながら、近年では中国や近隣諸国からアジア経済成長の為にインフラ開発が求められ、軍事政権の下、2つの大きなプロジェクトが進められ今後の経済発展が見込まれています。

### 1. 深海/自由貿易港「ダウエイ港」の開発



現在ミャンマーでは、ミャンマー南部のダウエイ港に大型コンテナ船が寄船できる深海自由貿易港の開発と、ダウエイ港とタイ西部カンチャナブリを結ぶ道路建設プロジェクトが進められています。

この道路建設プロジェクトは、カンチャナブリからダウエイ港とそれに隣接する40,500ヘクタールの経済特区を結び、全長約160kmとなります。タイとミャンマーにとって越境貿易を強化する主要な道路となり、同港が整備されると、タイからインドへの貨物輸送に際して、マラッカ海峡を通過することなくタイと陸路で接続する物流ルートが実現します。輸送日数を大幅に短縮でき、メコン地域の輸送に大きな変化をもたらす可能性があり、ミャンマーで初めての経済特区が完成することとなります。

海外企業に対し、ミャンマー政府は自由貿易港内の重工業インフラ開発に関して数十年の利権を与えるなどの利権譲渡や免税処遇を行うなど、手厚いサポートを行っていることから、インフラ開発に参加しているタイ企業が増加しています。

### 2. ミャンマー・中国間を結ぶ道路・鉄道建設及び原油・天然ガスパイプライン開発

ミャンマーは2015年までに、ヤンゴンの北西約400kmラムレー島にあるチャウピューと中国南西部雲南省の首都昆明（クンミン）を結ぶ鉄道建設を予定しています。（地図参照）

2010年初め、中国とミャンマーは高速道路建設にも合意。これにより、中国はインド洋に陸路でアクセス出来るようになる予定です。

また、原油及び天然ガスのパイプラインもミャンマー西海岸のチャウピュー港とミャンマー国境の中国雲南省瑞麗（ルイリー）市まで全長2,380kmのパイプラインを建設します。チャウピューは、中国への石油供給の終着点となることから今後重要な拠点となることが予想され、これにより中東及びアフリカから中国へ年間2200万トンの原油が運ばれることが見込まれています。現在中国の輸入原油は8割がマラッカ海峡を経由していますが、中東原油の輸入ルートを複数持つことで、供給の安全性が高まります。

中国最大規模の原油・天然ガスの生産と供給を誇る中国石油天然気集約公司（China National Petroleum Corporation/CNPC）は、2010年9月から2本のパイプラインの建設に入り、2013年に完工する予定です。中でもCAT製油圧ショベル（312B・312C・320B・320C）は特に人気があり、香港や中国から昆明に多数販売されています。



建設機械・トラック・売買・輸出・リース

ディーゼル通商株式会社

本社 〒595-0024 大阪府泉大津市池浦町4丁目3-31  
小間清実業ビル2F  
岸和田ヤード 〒596-0105 大阪府岸和田市内畑町1758-1

当社ホームページにて取扱在庫も確認いただけます

<http://diesel-trading.jp/>

TEL 0725(33)8999 FAX 0725(33)8999

Email: [info@diesel-trading.jp](mailto:info@diesel-trading.jp)